KIRIN

平成26年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月30日

上 場 会 社 名 キリンホールディングス株式会社　　上場取引所　東・名・札・福
コ ー ド 番 号 2503　　URL http://www.kirinholdings.co.jp/
代　表　者（役職名）代表取締役社長　　（氏名）三宅 占二
問合せ先責任者（役職名）グループコーポレートコミュニケーション担当ディレクター　　（氏名）藤原 哲也　（TEL）03-6837-7015
四半期報告書提出予定日　平成26年11月12日　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：有　（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成26年12月期第３四半期の連結業績（平成26年１月１日～平成26年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第３四半期	1,608,226	△4.1	80,788	△24.8	73,622	△26.1	22,029	△73.7
25年12月期第３四半期	1,677,610	4.5	107,496	2.1	99,688	9.3	83,662	229.7

（注）包括利益　26年12月期第３四半期　68,681百万円（△66.7%）　25年12月期第３四半期　206,107百万円（ 264.4%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
26年12月期第３四半期	23.93	23.90
25年12月期第３四半期	88.20	―

（参考）平準化EBITDA　26年12月期第３四半期　1,978億円（△12.0%）　25年12月期第３四半期　2,249億円（ 2.9%）
平準化EPS　26年12月期第３四半期　83円　（ △8.8%）　25年12月期第３四半期　91円　（18.2%）
両指標の定義、計算方法等の詳細は、「経営成績に関する説明」２ページをご覧ください。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第３四半期	2,831,720	1,308,073	38.1
25年12月期	2,896,456	1,300,726	37.1

（参考）自己資本　26年12月期第３四半期1,079,810百万円　25年12月期1,075,861百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
25年12月期	―	18.00	―	18.00	36.00
26年12月期	―	19.00	―		
26年12月期（予想）				19.00	38.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

（参考）平準化EPSに基づく配当性向（連結）　26年12月期（予想）　32.5%

３．平成26年12月期の連結業績予想（平成26年１月１日～平成26年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,210,000	△2.0	120,000	△16.0	102,000	△22.8	35,000	△59.1	38.10

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

（参考）平準化EBITDA　26年12月期通期（予想）　2,790億円（△7.5%）
平準化EPS　26年12月期通期（予想）　117円　（△4.1%）

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　—社（社名）　　、除外　　—社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（注）　詳細は、添付資料P5「２．サマリー情報(注記事項)に関する事項　（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期３Ｑ	965,000,000株	25年12月期	965,000,000株
②　期末自己株式数	26年12月期３Ｑ	51,697,120株	25年12月期	35,659,435株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期３Ｑ	920,423,696株	25年12月期３Ｑ	948,512,218株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社および当グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、当社および当グループの事業をとりまく経済情勢、市場動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おきください。

(2)決算補足説明資料は本日10月30日（木）に、また、10月31日（金）開催の決算説明会（電話会議）における資料・主な質疑応答については速やかに、当社ホームページに掲載いたします。

（当社ホームページURL）

http://www.kirinholdings.co.jp/irinfo/event/explain/index.html

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 5
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 5
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5
３．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 8
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 9
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等） …… 10
（追加情報） …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期（平成26年１月１日～平成26年９月30日）における世界経済は、米国の雇用情勢が良好に推移し、企業業績も好調さが見られるなど、一部の先進国経済が堅調であった一方、世界的に需要は低調で、長期化する地政学的要因の影響も加わり、欧州経済の先行きに対する懸念や新興国の成長ペース鈍化等の要素も抱えつつ推移しました。

このような世界経済のもと、わが国経済は、輸出が伸びない中でも、企業による設備投資が下支えとなって緩やかな回復が続きました。個人消費については、消費税率引き上げにより大きな振れが生じ、その後の回復には、夏場の天候不順による下押しもあり、足踏みがみられました。

キリングループは、長期経営構想「キリン・グループ・ビジョン2021」（略称：ＫＶ2021）実現に向けた最初のステージである「キリングループ2013年－2015年中期経営計画」に基づき、キリングループの「ブランドを基軸とした経営」を展開しながら、各地域統括会社が市場環境に応じた自律的な経営を行いました。一方で、中期経営計画で想定した成長ペースと乖離が発生している現状を踏まえ、中期経営計画後半及び2016年以降における持続的成長の実現に向け、中長期的視点で計画の策定に着手しました。

当第３四半期の連結売上高及び連結営業利益は、日本綜合飲料事業における販売数量の減少、医薬事業における薬価基準引き下げの影響及び技術料収入の減少に加え、キリン協和フーズ㈱（現ＭＣフードスペシャリティーズ㈱、以下同じ）が前年度第３四半期から連結対象外となったこと等の影響もあり、減少しました。連結経常利益も減少し、連結四半期純利益については、フレイザー・アンド・ニーヴ社の株式譲渡によって投資有価証券売却益等を計上した前年同期に比べ、大幅に減少しました。

連結売上高	1兆6,082億円	（前年同期比	4.1%減 ）
連結営業利益	807億円	（前年同期比	24.8%減 ）
連結経常利益	736億円	（前年同期比	26.1%減 ）
連結第３四半期純利益	220億円	（前年同期比	73.7%減 ）
（参考）			
平準化EBITDA ※	1,978億円	（前年同期比	12.0%減 ）
平準化EPS ※	83円	（前年同期比	8.8%減 ）

※ 平準化：特別損益等の非経常項目を除外し、より実質的な収益力を反映させるための調整

平準化EBITDA ＝ 営業利益 ＋ 減価償却費 ＋ のれん償却額 ＋ 持分法適用関連会社からの受取配当金

平準化EPS ＝ 平準化四半期純利益 ／ 期中平均株式数

平準化四半期純利益 ＝ 四半期純利益 ＋ のれん等償却額 ± 税金等調整後特別損益

なお、平準化EBITDAは億円未満切捨てで表示しており、平準化EPSは円未満四捨五入により算出しております。

なお、株主還元の更なる充実を図るため、公開買付けの手法により自己株式の取得を実施しました。当社大株主を含めた応募株主から、総額約197億円にて株式総数約1,599万株を５月に取得しました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

〈日本綜合飲料事業〉

当第３四半期の国内酒類・飲料市場では、４月に実施された消費増税に伴う駆け込み消費はありましたが、その反動及び夏場の天候不順による需要減が長引きました。これらの環境変化に対応しながら、「ブランドを基軸とした経営」の考え方に基づいた主力ブランド強化、お客様にとっての新しい価値の創造に一貫して取り組みました。

キリンビール㈱では、最重点ブランド「キリン一番搾り生ビール」について、広告、店頭でのブランドセミナー、工場、コンセプトショップ、「一番搾り プレミアム」を投入したギフト市場等あらゆる顧客接点で、その製法へのこだわりを訴求する活動に取り組みました。９月から開始した販促キャンペーンも奏功し、家庭用の缶の販売数量は増加しましたが、業務用の樽が減少し、「一番搾り」全体の販売数量は減少しました。発泡酒カテゴリーでは、機能性商品市場の拡大に対応し、「淡麗」ブランドから、プリン体0.00と糖質０の両方を実現した「淡麗プラチナダブル」を９月に発売し、わずか４週間で当初の年間販売目標である120万ケース※1の８割を達成しました。新ジャンル「キリン のどごし〈生〉」は、プレゼンスの向上に努めましたが、販売数量が減少しました。市場が拡大しているＲＴＤ※2では、「キリン 氷結」ブランドから、凍らせて飲むＲＴＤの新提案「キリン 氷結アイススムージー」を一部地域のコンビニエンスストア及び球場で発売しました。また、６月に発売したほろにがい味覚が特長の「キリンチューハイ ビターズ」の販売が好調に推移し、年間販売予定数を発売当初の３倍である300万ケース※3に上方修正しました。

メルシャン㈱では、今後更に注目が集まることが予想される日本産ブドウを100％使用した日本ワインである「シャトー・メルシャン」の新商品及び新ヴィンテージを９月に発売しました。また、日常的なワイン飲用文化が浸透するにつれ拡大を続ける国内ワイン市場において、堅調な「無添加・有機」カテゴリーで、「おいしい酸化防止剤無添加ワイン ふくよか赤」の小容量180mlサイズを新たに発売しました。

キリンビバレッジ㈱では、夏場の天候不順の影響もあり、清涼飲料全体の販売数量が前年を下回りましたが、「キリン 午後の紅茶 おいしい無糖」の販売数量が前年を上回り、「キリン 午後の紅茶」ブランド全体でほぼ前年並みの販売数量となりました。「キリン 世界のKitchenから」ブランドの販売数量は前年を下回りましたが、８月及び９月に、過去に好評を得た商品をリニューアルして発売し、ラインアップの拡充を行いました。

その他、日本綜合飲料事業全体でのコスト削減に継続して取り組みました。

これらの結果、ＲＴＤ、ワインの販売数量は前年を上回りましたが、ビール類及び清涼飲料の販売数量が減少し、売上高、営業利益ともに減少しました。

※１　大びん換算によります。

※２　ＲＴＤ：栓を開けてそのまま飲める低アルコール飲料でReady to Drinkの略です。

※３　250ml×24本換算によります。

日本綜合飲料事業連結売上高	8,390億円（前年同期比	3.7％減　）
日本綜合飲料事業連結営業利益	364億円（前年同期比	24.3％減　）

〈海外綜合飲料事業〉

豪州経済は、全体としては緩やかな回復基調が続きましたが、雇用環境の改善が進まず、個人消費は住宅価格上昇等の資産効果を除けば低調に推移し、厳しい市場環境が続きました。

ライオン社酒類事業では、基盤ブランドの強化及び成長カテゴリーでの販売強化を引き続き進めました。縮小が続く豪州ビール市場において、ライオン社ビール全体の販売数量は前年を下回りましたが、主力ブランド「フォーエックス・ゴールド」は前年並の販売数量を維持しました。成長カテゴリーでは、輸入プレミアムビールの販売数量が前年を上回ったほか、「ジェームス・スクワイア」、「リトル・クリーチャーズ」などのクラフトビールの販売が好調に推移しました。また、豪州ビール市場のリーディングカンパニーとして、ビール市場全体を活性化させる取り組みを開始しました。同社飲料事業では、「デア」などの乳飲料の販売数量が引き続き前年を上回って推移したものの、果汁飲料、チーズ等の販売数量が前年を下回り、飲料事業全体の販売数量も前年を下回りました。飲料事業の収益性向上のための事業構造改革については、計画の策定を完了し、一部実行段階へと移りました。

ブラジル経済は、物価上昇率の高止まりを背景に内需が低迷し、弱い外需とも相まって、景気後退局面に入り、厳しい市場環境が続きました。

ブラジルキリン社では、ビール主力ブランド「スキン」のプレゼンス最大化に努めましたが、６月から７月にかけて開催されたサッカー・ワールドカップをめぐり、競合他社との間で激しい競争が展開され、ワールドカップ終了後も流通在庫等の影響が続いたことなどから、ビールの販売数量は前年を下回りました。また、清涼飲料の販売

数量も前年を下回る結果となりました。このような状況の中、サプライチェーン効率化による収益性向上の取組みを着実に進めました。

これらの結果、オセアニア綜合飲料事業においては、酒類事業の増収増益に加え為替影響もあり、売上高、営業利益ともに増加しました。海外その他綜合飲料事業においては、売上高は増加しましたが、ブラジルキリン社の営業損失増加などにより、全体の営業損失も増加しました。

オセアニア綜合飲料事業連結売上高	3,594億円（前年同期比	0.6%増 ）
オセアニア綜合飲料事業連結営業利益	236億円（前年同期比	2.1%増 ）
海外その他綜合飲料事業連結売上高	1,589億円（前年同期比	4.0%増 ）
海外その他綜合飲料事業連結営業損失	△54億円（前年同期比	― ）

〈医薬・バイオケミカル事業〉

医薬事業では、協和発酵キリン㈱の国内販売において、抗アレルギー剤「アレロック」及び抗アレルギー点眼剤「パタノール」は、花粉飛散量の減少に加え、「アレロック」についてジェネリック医薬品の浸透が進んだ影響により、売上高が前年を下回りました。主力製品である腎性貧血治療剤「ネスプ」は堅調に推移したほか、その他の主要な医薬品も順調に伸張し、９月には尋常性乾癬治療剤「ドボベット」をレオ ファーマ社と共同で発売しましたが、国内医薬品全体の売上高は、４月に実施された薬価基準引下げの影響等により前年を下回りました。医薬品の輸出及び技術収入では、輸出は堅調に推移したものの、技術収入が減少し、売上高は減少しました。海外では、プロストラカン社の主力製品が順調に伸張したほか、８月５日に、プロストラカン社同様に疼痛・がん・クリティカルケア※の領域に強みを持つ英国のアルキメデス社を買収し、事業基盤の更なる強化を図りました。これにより、連結業績には、買収が完了した８月以降のアルキメデス社及びその子会社の業績が含まれております。

バイオケミカル事業では、協和発酵バイオ㈱において、国内では、ジェネリック医薬品原薬の販売が伸張するなど堅調であったほか、ヘルスケア領域では、「オルニチン」をはじめとする通信販売事業の売上高が前年を上回りました。また、海外の売上高は、円安の影響もあり、前年を上回りました。

これらの結果、バイオケミカル事業の売上高、営業利益は増加しましたが、医薬事業の売上高、営業利益が減少したことにより、医薬・バイオケミカル事業全体としては、売上高、営業利益ともに減少しました。

※ クリティカルケア：重篤な疾患などにより生命の危機に陥っている患者さんに対して行われる集中治療の意味です。

医薬・バイオケミカル事業連結売上高	2,327億円（前年同期比	5.0%減 ）
医薬・バイオケミカル事業連結営業利益	282億円（前年同期比	34.8%減 ）

〈その他事業〉

小岩井乳業㈱では、引き続き、主力商品「小岩井 生乳100%ヨーグルト」の顧客接点拡大の活動に注力し、販売数量が前年を大幅に上回りました。輸入原料の為替影響及び国内原料の供給不足による価格高騰等の影響を受けましたが、生産・物流コスト削減などに努めました。

これらの結果、小岩井乳業㈱は増収増益となりましたが、その他事業全体としては、キリン協和フーズ㈱が連結対象外となったこともあり、売上高、営業利益とも減少しました。

その他事業連結売上高	179億円（前年同期比	64.9%減 ）
その他事業連結営業利益	23億円（前年同期比	18.9%減 ）

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、商品及び製品、有形固定資産、無形固定資産等が増加したものの、現金及び預金、受取手形及び売掛金等の減少により、前連結会計年度末に比べ647億円減少して２兆8,317億円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金、未払法人税等、未払酒税（流動負債「その他」）の減少等により、前連結会計年度末に比べ720億円減少して１兆5,236億円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ73億円増加して１兆3,080億円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、各事業の進捗等を勘案した結果、下記のとおり修正しております。

【平成26年12月期の連結業績予想】

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（Ａ）	2,260,000	140,000	122,000	49,000	53円3銭
今回修正予想（Ｂ）	2,210,000	120,000	102,000	35,000	38円10銭
増減額（Ｂ－Ａ）	△50,000	△20,000	△20,000	△14,000	―
増減率（%）	△2.2%	△14.3%	△16.4%	△28.6%	―
前期実績（平成25年12月期）	2,254,585	142,818	132,134	85,656	90円76銭

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成26年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	113,759	52,872
受取手形及び売掛金	396,113	315,547
商品及び製品	136,494	159,430
仕掛品	34,488	38,941
原材料及び貯蔵品	54,063	49,789
その他	83,729	80,376
貸倒引当金	△3,860	△4,030
流動資産合計	814,788	692,927
固定資産		
有形固定資産	764,378	787,367
無形固定資産		
のれん	649,519	647,111
その他	187,417	211,465
無形固定資産合計	836,936	858,576
投資その他の資産		
投資有価証券	376,155	384,289
その他	109,487	113,824
貸倒引当金	△5,291	△5,265
投資その他の資産合計	480,351	492,848
固定資産合計	2,081,667	2,138,793
資産合計	2,896,456	2,831,720

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成26年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	155,863	133,741
短期借入金	118,410	127,750
コマーシャル・ペーパー	—	70,995
1年内償還予定の社債	30,000	59,999
未払法人税等	28,429	9,237
引当金	7,449	16,309
その他	319,745	263,042
流動負債合計	659,898	681,076
固定負債		
社債	259,454	230,301
長期借入金	383,213	343,093
退職給付引当金	62,461	45,910
訴訟損失引当金	30,711	29,680
その他の引当金	9,296	9,085
その他	190,693	184,498
固定負債合計	935,831	842,570
負債合計	1,595,729	1,523,647
純資産の部		
株主資本		
資本金	102,045	102,045
資本剰余金	81,417	81,417
利益剰余金	850,511	838,018
自己株式	△53,903	△73,668
株主資本合計	980,071	947,812
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,506	44,014
繰延ヘッジ損益	128	△1,017
土地再評価差額金	△2,581	△2,140
為替換算調整勘定	53,737	91,141
その他の包括利益累計額合計	95,790	131,998
新株予約権	306	310
少数株主持分	224,558	227,951
純資産合計	1,300,726	1,308,073
負債純資産合計	2,896,456	2,831,720

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成26年１月１日 至 平成26年９月30日）
売上高	1,677,610	1,608,226
売上原価	958,207	922,108
売上総利益	719,403	686,118
販売費及び一般管理費	611,906	605,329
営業利益	107,496	80,788
営業外収益		
受取利息	3,283	2,832
受取配当金	1,795	1,500
持分法による投資利益	1,558	4,901
その他	5,292	4,227
営業外収益合計	11,929	13,462
営業外費用		
支払利息	15,909	15,128
その他	3,829	5,499
営業外費用合計	19,738	20,628
経常利益	99,688	73,622
特別利益		
固定資産売却益	21,762	2,807
投資有価証券売却益	46,945	178
その他	2,738	438
特別利益合計	71,446	3,424
特別損失		
固定資産除却損	2,396	2,441
固定資産売却損	963	179
減損損失	288	863
投資有価証券評価損	142	0
投資有価証券売却損	150	22
事業構造改善費用	4,925	6,915
在外子会社税制特別措置適用支払金	8,460	—
工場再編損失引当金繰入額	3,390	—
その他	3,944	1,632
特別損失合計	24,662	12,055
税金等調整前四半期純利益	146,472	64,992
法人税等	48,480	33,423
少数株主損益調整前四半期純利益	97,992	31,568
少数株主利益	14,329	9,539
四半期純利益	83,662	22,029

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成26年１月１日 至 平成26年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	97,992	31,568
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,638	△104
繰延ヘッジ損益	9,601	△1,146
為替換算調整勘定	96,761	35,370
持分法適用会社に対する持分相当額	20,389	2,992
その他の包括利益合計	108,114	37,112
四半期包括利益	206,107	68,681
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	185,375	57,680
少数株主に係る四半期包括利益	20,731	11,001

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は平成26年３月10日開催の取締役会において、会社法第165条第３項の規定により読み替えて適用される同法第156条第１項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得及びその具体的な取得方法として自己株式の公開買付けを行うことを決議し、当該自己株式の公開買付けを実施した結果、普通株式15,996,866株、19,708百万円を取得しました。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成25年１月１日　至　平成25年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	綜合飲料			医薬・バイオケミカル			
	日本	オセアニア	海外その他				
売上高							
外部顧客への売上高	871,083	357,329	152,818	245,096	51,282	―	1,677,610
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,604	66	161	7,006	2,417	△15,257	―
計	876,687	357,396	152,979	252,103	53,700	△15,257	1,677,610
セグメント利益又は損失（△）	48,166	23,158	△4,668	43,393	2,928	△5,483	107,496

（注）１　「その他」の区分は、調味料・乳製品などの食品事業等を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失(△)の調整額△5,483百万円には、セグメント間取引消去1,496百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△6,979百万円が含まれております。全社費用は、主に純粋持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

３　セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成26年１月１日　至　平成26年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	綜合飲料			医薬・バイオケミカル			
	日本	オセアニア	海外その他				
売上高							
外部顧客への売上高	839,077	359,457	158,906	232,794	17,990	―	1,608,226
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,586	71	147	6,142	994	△9,942	―
計	841,664	359,529	159,054	238,936	18,985	△9,942	1,608,226
セグメント利益又は損失（△）	36,445	23,637	△5,486	28,293	2,375	△4,478	80,788

（注）１　「その他」の区分は、乳製品などの食品事業等を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失（△）の調整額△4,478百万円には、セグメント間取引消去756百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,234百万円が含まれております。全社費用は、主に純粋持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

３　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

（追加情報）

（法人税率の変更等による影響）

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成26年法律第10号）が平成26年３月31日に公布され、平成26年４月１日以後に開始する連結会計年度から復興特別法人税が課されないこととなりました。

なお、これによる当第３四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

（連結納税制度の適用について）

当社及び一部の連結子会社は、第１四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

2014年第３四半期決算
補足説明資料

１．連結損益計算書サマリー・指標等
２．売上高明細
３．利益増減明細
４．連結貸借対照表サマリー
５．その他情報

キリンホールディングス株式会社
2014年10月30日

１．連結損益計算書サマリー・指標等

（１）損益計算書サマリー・指標等

（単位：億円）

	2014年 第３四半期 （実績）	2013年 第３四半期 （実績）	対前年増減	
売上高	16,082	16,776	△693	△4.1%
売上総利益	6,861	7,194	△332	△4.6%
販売費及び一般管理費	6,053	6,119	△65	△1.1%
営業利益	807	1,074	△267	△24.8%
営業外収益	134	119	15	12.8%
営業外費用	206	197	8	4.5%
経常利益	736	996	△260	△26.1%
特別利益	34	714	△680	△95.2%
特別損失	120	246	△126	△51.1%
税金等調整前四半期純利益	649	1,464	△814	△55.6%
法人税等	334	484	△150	△31.1%
少数株主利益	95	143	△47	△33.4%
四半期純利益	220	836	△616	△73.7%
平準化ＥＢＩＴＤＡ	1,978	2,249	△270	△12.0%
平準化ＥＰＳ	83円	91円	△8円	△8.8%
売上高（酒税抜き）	13,900	14,534	△634	△4.4%
営業利益（のれん等償却前）	1,229	1,493	△263	△17.7%
営業利益率（対酒税抜き・のれん等償却前）	8.8%	10.3%		

平準化ＥＢＩＴＤＡ＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額＋持分法適用関連会社からの受取配当金
平準化ＥＰＳ＝平準化四半期純利益／期中平均株式数
平準化四半期純利益＝四半期純利益＋のれん等償却額±税金等調整後特別損益

（２）主要在外会社損益の為替換算レート及び取込期間

（単位：円）

	2014年 第３四半期 （実績）	2013年 第３四半期 （実績）
ライオン（豪ドル）	93.64	92.94
ブラジルキリン（ブラジルレアル）	45.03	45.38

	2014年第３四半期（実績）	2013年第３四半期（実績）
ライオン	2013年10月～2014年６月	2012年10月～2013年６月
サンミゲルビール		

２．売上高明細

（単位：億円）

	2014年 第３四半期 （実績）	2013年 第３四半期 （実績）	対前年増減	
売上高	16,082	16,776	△693	△4.1%
日本綜合飲料	8,390	8,710	△320	△3.7%
キリンビール ※	5,083	5,383	△299	△5.6%
キリンビバレッジ	2,548	2,644	△95	△3.6%
メルシャン	472	457	14	3.2%
その他・内部取引消去	286	225	61	27.1%
海外綜合飲料	5,183	5,101	82	1.6%
ライオン	3,595	3,573	21	0.6%
ブラジルキリン	1,274	1,240	33	2.7%
その他・内部取引消去	314	286	27	9.5%
医薬・バイオケミカル	2,327	2,450	△123	△5.0%
協和発酵キリン	2,389	2,521	△131	△5.2%
医薬	1,777	1,917	△139	△7.3%
バイオケミカル	611	603	7	1.3%
その他・内部取引消去	△61	△70	8	—
その他	179	512	△332	△64.9%

※　キリンビールとキリンビールマーケティングの合算値

＜参考＞酒税抜売上高

（単位：億円）

	2014年 第３四半期 （実績）	2013年 第３四半期 （実績）
キリンビール	2,985	3,206

３．利益増減明細

（１）営業利益

（単位：億円）

	2014年 第３四半期 （実績）	2013年 第３四半期 （実績）	対前年増減
営業利益	807	1,074	△267
日本綜合飲料	364	481	△117
キリンビール ※	319	392	△73
キリンビバレッジ ※	△13	30	△44
のれん償却額	△14	△14	—
計	△28	15	△44
メルシャン ※	△8	△4	△3
その他	81	77	3
海外綜合飲料	181	184	△3
ライオン（連結組替後）	499	493	5
のれん償却額	△232	△229	△2
ブランド償却費	△30	△31	1
計	236	231	4
ブラジルキリン（連結組替後）	△6	6	△13
のれん償却額	△40	△40	0
ブランド償却費	△23	△23	0
計	△70	△57	△12
その他	15	10	4
医薬・バイオケミカル	282	433	△151
協和発酵キリン（連結組替後）	282	433	△151
医薬	206	369	△163
バイオケミカル	56	45	11
その他・のれん償却額消去	66	65	0
のれん償却額	△46	△46	—
その他	23	29	△5
全社費用・セグメント間取引消去	△44	△54	10

※ 持株会社へのマネジメントフィ控除後

主な営業利益増減内容

（単位：億円）

会社名	要因	対前年増減	内容
キリンビール	酒類限界利益減	△113	ビール販売数量減 △20千kl △27億
			発泡酒販売数量減 △20千kl △21億
			新ジャンル販売数量減 △64千kl △72億
			ＲＴＤ販売数量増 24千kl 23億
			品種構成による差異 他
	原材料コストダウン	3	麦芽コストアップ △5億、包材コストダウン 9億 他
	販売費増	△5	販売促進費・広告費増 △5億 他
			（ビール・発泡酒・新ジャンル △18億、ＲＴＤ △12億 他）
	その他費用減	42	減価償却費減 22億、人件費減 19億 他
計		△73	
キリンビバレッジ	数量差異	△52	販売数量減 △492万ケース
	原材料等コストダウン	0	原料コストアップ △7億、包材コストダウン 13億 他
	容器構成差異等	△33	
	販売費減	44	販売促進費・広告費減 36億、運搬費減 7億
	その他費用	△2	マネジメントフィ増 △4億 他
計		△44	

主な営業費用

（単位：億円）

		2014年 第３四半期 （実績）	2013年 第３四半期 （実績）
販売促進費		1,521	1,489
広告費		610	622
キリンビール	販売促進費・広告費	605	600
キリンビバレッジ	販売促進費・広告費	900	937
研究開発費		393	379
協和発酵キリン（内部取引除く）		319	302

（２）経常利益、四半期純利益

（単位：億円）

	2014年 第３四半期 （実績）	2013年 第３四半期 （実績）	対前年増減	増減内容
営業外損益	△71	△78	6	
金融収支	△107	△108	0	
持分法による投資損益	49	15	33	
サンミゲルビール	47	59	△12	現地持分損益 △11億 他
その他	1	△43	45	キリンアムジェン 26億 他
為替差損益	1	11	△9	
その他	△14	2	△17	
経常利益	736	996	△260	
特別損益	△86	467	△554	
特別利益	34	714	△680	
固定資産売却益	28	217	△189	
投資有価証券売却益	1	469	△467	
その他	4	27	△23	
特別損失	△120	△246	126	
固定資産除却損	△24	△23	△0	
固定資産売却損	△1	△9	7	
減損損失	△8	△2	△5	
投資有価証券評価損	△0	△1	1	
投資有価証券売却損	△0	△1	1	
事業構造改善費用	△69	△49	△19	
在外子会社税制特別措置適用支払金	—	△84	84	
工場再編損失引当金繰入額	—	△33	33	
その他	△16	△39	23	
法人税等	△334	△484	150	
少数株主利益	△95	△143	47	
四半期純利益	220	836	△616	

４．連結貸借対照表サマリー

（単位：億円）

	2014年 第３四半期末	2013年 期末	増減額	増減内容
流動資産	6,929	8,147	△1,218	
現金及び預金	528	1,137	△608	
受取手形及び売掛金	3,155	3,961	△805	・前年度末が休日による減少　他
棚卸資産	2,481	2,250	231	
その他	763	798	△35	
固定資産	21,387	20,816	571	
有形固定資産	7,873	7,643	229	
無形固定資産	8,585	8,369	216	
のれん	6,471	6,495	△24	
その他	2,114	1,874	240	
投資その他の資産	4,928	4,803	124	
資産合計	28,317	28,964	△647	
流動負債	6,810	6,598	211	
支払手形及び買掛金	1,337	1,558	△221	
有利子負債	2,587	1,484	1,103	・CP発行による増加 社債及び長期借入金の長短振替による増加　他
その他	2,885	3,556	△670	・前年度末が休日による未払酒税の減少　他
固定負債	8,425	9,358	△932	
有利子負債	5,733	6,426	△692	・社債及び長期借入金の長短振替による減少　他
その他	2,691	2,931	△239	
負債合計	15,236	15,957	△720	
株主資本	9,478	9,800	△322	
その他の包括利益累計額	1,319	957	362	・為替変動による為替換算調整勘定の増加　他
新株予約権	3	3	0	
少数株主持分	2,279	2,245	33	
純資産合計	13,080	13,007	73	
負債純資産合計	28,317	28,964	△647	

５．その他情報

（１）主要な開示連結会社損益　（連結組替後）

2014年第３四半期実績

＜連結子会社＞

（単位：億円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	連結純利益
協和発酵キリン	2,389	260	242	121	63
のれん償却額消去		69	69	69	36
のれん償却額		△46	△46	△46	△46
連結取込計	2,389	282	264	144	53

＜持分法適用関連会社＞

（単位：億円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	連結純利益
サンミゲルビール	1,378	379	328	220	107
現地持分損益			107	107	107
ブランド償却費			△14	△14	△14
のれん償却額			△45	△45	△45
連結取込計			47	47	47

（２）主要事業会社　売上明細

①　キリンビール

	2014年 第３四半期		2013年 第３四半期	
	実績	対前年増減	実績	対前年増減
売上高	億円	%	億円	%
ビール	1,960	△3.8	2,038	△3.7
発泡酒	1,119	△5.3	1,182	△6.4
新ジャンル	1,241	△12.0	1,410	0.8
計	4,321	△6.7	4,631	△3.1
ＲＴＤ	527	14.9	459	8.2
洋酒・その他　※	233	△20.3	292	△17.0
売上高計	5,083	△5.6	5,383	△3.1

※　グループ会社への清涼飲料売上高を含む

② キリンビバレッジグループ

＜カテゴリー別販売実績（連結）＞

清涼飲料			2014年 第３四半期				2013年 第３四半期			
			実績	構成比	対前年増減	前年比	実績	構成比	対前年増減	前年比
			万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%
カテゴリー別	茶系飲料	日本茶	1,475	10	△241	86	1,716	11	140	109
		烏龍茶	184	1	△35	84	219	2	15	107
		紅茶	3,322	23	△31	99	3,353	22	82	103
		計	4,981	34	△307	94	5,288	35	237	105
	コーヒー飲料		2,042	14	△106	95	2,148	14	△24	99
	果実・野菜飲料		1,849	13	△523	78	2,372	16	631	136
	炭酸飲料		1,162	8	△44	96	1,206	8	54	105
	水		2,554	17	△78	97	2,632	17	△31	99
	その他		2,075	14	566	138	1,509	10	199	115
国内市場清涼飲料計			14,663	100	△492	97	15,155	100	1,066	108

＜容器別販売実績（連結）＞

清涼飲料			2014年 第３四半期				2013年 第３四半期			
			実績	構成比	対前年増減	前年比	実績	構成比	対前年増減	前年比
容器別	区分	内訳	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%
缶容器	缶	ボトル缶を含む	2,512	17	△172	94	2,684	18	△204	93
PET容器	大型PET	２L	3,374	23	2	100	3,372	22	340	111
		1.5L、１L、900ml、750ml	1,243	8	△28	98	1,271	8	144	113
		大型PET計	4,617	31	△26	99	4,643	30	484	112
	小型PET	500ml	4,586	31	△375	92	4,961	33	388	108
		350ml以下	1,365	10	124	110	1,241	8	266	127
		小型PET計	5,951	41	△251	96	6,202	41	654	112
		PET計	10,568	72	△277	97	10,845	71	1,138	112
その他容器	ワンウェイ・リターナブル壜、紙、ギフト 他		1,583	11	△43	97	1,626	11	132	109
国内市場清涼飲料計			14,663	100	△492	97	15,155	100	1,066	108

2014年通期業績予想
補足説明資料

１．売上高明細
２．利益増減明細

キリンホールディングス株式会社
2014年10月30日

１．売上高明細

（単位：億円）

	2014年 通期 （３Ｑ予想）	2013年 通期 （実績）	３Ｑ対前年増減		2014年 通期 （期央予想）	３Ｑ対期央 増減
売上高	22,100	22,545	△445	△2.0%	22,600	△500
日本綜合飲料	11,520	11,801	△281	△2.4%	11,890	△370
キリンビール　※	6,926	7,291	△365	△5.0%	7,143	△216
キリンビバレッジ	3,505	3,535	△30	△0.9%	3,652	△147
メルシャン	688	670	18	2.7%	706	△17
その他・内部取引消去	400	304	95	31.4%	388	11
海外綜合飲料	7,070	6,852	217	3.2%	7,200	△130
ライオン	4,735	4,684	50	1.1%	4,735	—
ブラジルキリン	1,908	1,783	124	7.0%	2,062	△154
その他・内部取引消去	426	384	42	11.0%	402	24
医薬・バイオケミカル	3,270	3,313	△43	△1.3%	3,280	△10
協和発酵キリン	3,360	3,406	△46	△1.4%	3,370	△10
医薬	2,530	2,595	△65	△2.5%	2,510	20
バイオケミカル	830	810	19	2.4%	860	△30
その他・内部取引消去	△90	△92	2	—	△90	—
その他	240	577	△337	△58.5%	230	10

※　キリンビールとキリンビールマーケティングの合算値

２．利益増減明細

（単位：億円）

	2014年 通期 （３Ｑ予想）	2013年 通期 （実績）	３Ｑ対前年 増減	2014年 通期 （期央予想）	３Ｑ対期央 増減
営業利益	1,200	1,428	△228	1,400	△200
日本綜合飲料	485	621	△136	615	△130
キリンビール　※	425	518	△93	509	△84
キリンビバレッジ　※	△12	37	△49	31	△43
のれん償却額	△19	△19	—	△19	—
計	△31	17	△49	11	△43
メルシャン　※	5	3	1	12	△6
その他	86	81	4	81	4
海外綜合飲料	300	306	△6	350	△50
ライオン(連結組替後)	619	633	△14	619	—
のれん償却額	△310	△303	△6	△310	—
ブランド償却費	△41	△42	0	△41	—
計	267	287	△20	267	—
ブラジルキリン(連結組替後)	99	88	10	154	△55
のれん償却額	△53	△53	0	△53	—
ブランド償却費	△31	△31	0	△31	—
計	14	3	11	70	△55
その他	17	15	2	12	5
医薬・バイオケミカル	460	543	△83	480	△20
協和発酵キリン(連結組替後)	460	543	△83	480	△20
医薬	350	461	△111	370	△20
バイオケミカル	80	56	23	80	—
その他・のれん償却額消去	92	87	4	92	—
のれん償却額	△62	△62	—	△62	—
その他	30	37	△7	30	—
全社費用・セグメント間取引消去	△75	△80	5	△75	—

※　持株会社へのマネジメントフィ控除後